



第 1 8 号
平成 1 7 年
5 月 発 行

望洋荘での百歳ハザイ

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 滉

福島県内の百歳以上の高齢者は平成17年4月現在で、三百七十二名(男性四十八名、女性三百二十五名)です。いわき市内では男性八名、女性四十七名の計五十五名です。ちなみに、県内の最高齢者は、福島市在住の女性で百八歳(明治三十年生)、市内では四倉町在住の女性で百七歳(明治三十一年生)です。

望洋荘」を開設していつのまにか一年半余となり、入居者の方々も落ち着いた生活をおくられています。その中で、今回、当施設初めてのめでたい百歳の賀寿を、明治三十八年五月一日生の山際イクコ様がむかえられました。大正十五年に結婚され六人の子供さんを育てられました。趣味はテレビの歌謡番組を見ること、長生きの秘訣は「よくよしないと」といっています。御息が、挨拶のなかで、明治、大正、昭和、平成と激動の時代を子供たちを教育しながら、黙々と生き抜いてきたことに、感謝の言葉をかけられていました。はにかみながら頷ずくイクコ様の姿を見るに、年老いた幼児の面影をみる思いでした。

百歳の誕生日に設定された賀寿贈呈式は、ご家族の意向に沿って望洋荘塩屋岬広場のホールで開催。式には山際家の皆様と入居者、職員が出席。式典では、県、市、老人クラブ、市、市社会福祉協議会などから記念品、祝い金などが贈られ、お孫さんからの花束贈呈などあり、イクコ様の長い人生で培った暖かい雰囲気を感じさせる式でした。続いて祝賀会につきり、職員やボランティアによる余興で会を盛り上げていただきました。

来年は、お一方が百歳を迎えられます。その方達のため先達として、山際様がこれからもお元気で日本一の長寿者になられますよう祈念して、「百歳ハザイ」の拍手をおくりたいと思います。



『百歳賀寿贈呈式』家族揃って記念写真

『百歳賀寿』 山際イクヨ様

五月一日(日) 望洋荘入居者であります「山際イクヨ」さんが百歳の誕生日を迎えました。当日は、福島県及びいわき市より多数のご来賓を頂きましての「百歳賀寿贈呈式」、続きまして施設の入居者・職員による山際さんの百歳の誕生日をお祝いしての「百歳賀寿祝賀会」が執り行なわれました。

望洋荘で初めて百歳賀寿でしたが、ご家族様が大きな鯛を持って来て下さり、昼食にユニットのみんなに分け合い長寿にあやかりました。赤飯と鯛でユニットのみんなでお祝いをしました。



山際イクヨさん
明治 38 年 5 月 1 日生まれ
百年の年輪は全て丸く
しています。毎日規則正しく
同じ時間に起床します。
肉以外に好き嫌い無く良
く噛んで食べます。



【百歳賀寿贈呈式】

福島県……賀状・記念品・色紙(佐藤栄佐久県知事直筆)贈呈
いわき市……賀状・祝金贈呈
県老人クラブ連合会・市老人クラブ連合会・市社会福祉協議会・賀状・記念品贈呈
山際家・りんさく福祉会より花束贈呈 山際家親族代表より謝辞がありました。

【百歳賀寿祝賀会】

理事長よりお祝いのあいさつの後、山際様より車椅子の贈呈がありました。戴きました車椅子は大切に使用させて頂きます。誠にありがとうございました。
余興では、双子の「坂本ツインス」さんによる「ヨーヨー芸・縁 美寛」さんによる塩ビ管尺八演奏とみんなを楽しませて頂きました。最後は職員による「マツケンサンバ」仮装なのか? 変装なのか? 得体の知らない格好で踊りまくりました。仕事の合間に一生懸命練習した成果が出て大変好評でした。勢いづいてか、施設内を踊り流し入居者全員大喜びでした。

酒と美声と玉遊びの顛末

須田 湜

早いもので平成十年の第三回のゴルフコンペを小生が幹事を務めたのは四年前。今回は地元で一番の名門コース小浜浜カントリー倶楽部を「用意して、お待ちを申し上げます。時は平成十四年霜月十日。全国的に早い本格的な寒さ到来の時期と重なってしまいました。

前日にいわき駅近くのワシントンホテル椿山荘集合の約束でありました。温泉宿と思いつき湯に浸るべく熱 氏が一番乗りで早々に到着。次に田 氏が自家用車にて当院にご来駕。頃合いを見計らって一人で宿へ行くとはほぼ同時に熊、鳥、岡の三氏も到着。当日参加の高 氏を除き全員集合となり、早速第一ラウンドの会場へ赴く運びとなりました。磯料理の料亭で鮫鱈鍋を予定していたのであるが、時期尚早といふことで幻に。それでも小生の手前「美味しい」と食してくれてひと安心をいたしました。用意をした地元の生酒「又兵衛」(二国連太郎氏ご推薦)の力が大きかったです。

前夜祭の第一ラウンドを如何に戦うかが、本戦の運命を左右しているのは過去十回のコンペで証明されています。二日酔いに耐え得た者がウイナーとしての栄冠を勝ち得てきた歴史は覆せまい。小生思うところ、酒豪順位は上位に鳥、熱、岡の三氏。程々につき合ひよく飲むのが熊 氏。田 氏はすでに飲む前からつちややかな若々しい顔が紅潮気味。とつとつと注いでいるうちに「もう結構」といつ風情・羨まし限りである。一時間余の戦いに終止符を打たんとすれども、上位組には些か酒量不足と判断。いわきにしては珍しい寒風の中、肩を肴めて第二ラウンド会場に移動となりました。

あんちゃん風のパーテンと愛想の良いおねえちゃんを前に、それぞれの好みの酒を注文してのカラオケ合戦。トップバッターは言わずもがな小生、地元の塩屋崎灯台が舞台である「みだれ髪」を僭越ながら披露。続いて「無法松の一生」を熱 氏が豪快かつ朗々と歌いあげた。順を争うこともなく下記の歌を酔いに任せて田町(いわきの繁華街)に響かせたのであった。最後に田 氏と小生でおさみの歌を歌って優劣を競ったのであるが、評価してもらつても決着つかず…。曲名をみると、新しい歌はなく、古いものだけよく憶えている老人性痴呆の初期症状を思わせる現象かな、と脳裏に

浮かんだが、口には出さずに「アム」と飲み込んだのであります。明日の良い大候を念じつつ、酒豪はホテルでそれぞれにと相成りカラオケ合戦終了。

みだれ髪	須	柿の木坂の家	須
無法松の一生	熱	月の法善寺横丁	熱
白い花の咲く頃	田	酔いどれ	熊
奥入瀬	鳥	今夜は離さない	鳥
あなたのすべて	岡	南国土佐を後にして	岡
舟唄	熊	あさみの歌	須 由

当日は面々ホテルから当院の駐車場にタクシ で集合。田 氏と小生の車に分乗して本戦会場へ直行。来るのか来ないのか、ヤキモキしていた高 氏も自家用車で無事到着して幹事としては一安心。寒いもの前日よりは大候も回復し、これまた胸を撫で下ろした。

一組 須 岡 高 鳥
二組 田 熊 熱

当然のことながらスタート前から舌戦もヒートアップ。握りも含めての談話が成立して、南コースからコンペ開始。鳥 氏のみ調子悪し。他はいつもの調子でそこそこのてい気の合ったメンバーでワイワイガヤガヤのゴルフは楽しいものである。ハーフ後、全員で前半の反省をしながら、目光(いわき地区の名産の魚)を肴に酒、酒、酒、ああ極楽、極楽。後半の西コースも鳥 氏スア伸び悩み、岡、熱 の両氏の頬が「マリ」と…。結果は言わずもがな、地元のコースを熟知している上に、第一ラウンドの戦いに余裕があったのであろう小生に軍配は拵がったのであります。握りも熱 氏被害甚少。鳥 氏の被害甚大。悔しがる姿をご想像あれ。湯で暖まった後、表彰式ならぬパーティを開き、各人のタレバの発言の内に閉会。田 氏と高 氏は乗用車にてそれぞれ帰路について、熱、熊、鳥、岡 氏をいわき駅まで見送つての、お別れとなったが、酒、ビールおつまみを大量に買い込み、遠足気分の面々を眺め、ちよつぴり羨ましい気分であった。次回も同じ様が呈されることになるであろうが楽しみである。

医科十三期同窓会誌 第十一回「ゴルフコンペ」の報告「より

介護老人福祉施設 『望洋荘』
職員紹介 & コメント集



介護士 國分 奈保美

望洋荘で働き始めて、五ヶ月が過ぎました。最初は戸惑いや不安がありましたが、今では利用者様方と過ごす時間が楽しいです。利用者様の笑顔にいつも力をもらい、私も利用者様の力になれるように頑張りたいと思います。まだまだ未熟な私ですが、先輩方に教えて頂き、日々学びこれからも望洋荘で頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

今月の言葉その (倫理研究所編纂語集から)

真の楽しみは仕事にある

旅行したり食事したり...誰にもひそかな楽しみがある。それはそれでいい。だが、働きを通して得る楽しみにはやはり敵わない。それこそ生きる醍醐味だから。

『望洋荘』に住んでみて 第五話

『望洋荘』の各部門の内部の紹介をします。今月は「勿来海岸通り」です。

居室部門(勿来ユニット) 勿来海岸通り二丁目には、一、二、三、五番地の四つの居室があり、ほかにホールを中心にして、他に二、三、五丁目と命名された居住地区があります。ここには十六名の方々が支援する職員とともに住んでいる共同体です。



勿来海岸通りへは、正面玄関を入り直ぐ右へ曲がり奥のエレベーターの前を通ってすぐ右側にあります。居住地に入ると入口には左側に入居者様の写真が飾られており、更にホールを通りデイルームに進みますと、太平洋が一望できます。三丁目・五丁目からも眺める事が出来ます。向側に四倉・新舞子海岸通りユニットがあり、入居者様同士の交流もあります。

利用者数は、十六名で最高年齢九十五歳、平均八十二歳です。

ユニットの特徴としては、自立している利用者様が多く、共通の趣味は主に歌であり、レクリエーションでも歌をメインに行い間に体操なども取り入れると皆様積極的に参加し、笑顔も見られ良い表情されます。又飾り付けは楽しくをモットーに職員と利用者様が一体となり一ヶ月毎に製作し壁面に貼っております。これからも日々元気で楽しく過ごして頂けます様に健康面に気を配りながら利用者様の笑顔が見られる様、勿来ユニット職員一同頑張っていきます。よろしくお願い致します。

『りんさく福祉会』平成十六年度決算報告

(平成16年 4月1日～平成17年 3月31日)

勘定科目	金額(円)
事業収支活動の部	
収入	349,179,695
支出	302,855,865
収支差額	46,323,830
事業活動外収支の部	
収入	598,383,886
支出	598,788,555
収支差額	△ 404,669
特別収支の部	
収入	61,500
支出	0
収支差額	61,500
当期活動収支差額	45,980,661
繰越活動収支差額の部	
前期繰越活動収支差額	△ 8,581,857
当期末繰越活動収支差額	37,398,804
次期繰越活動収支差額	37,398,804

平成16年度の社会福祉法人りんさく福祉会『貸借対照表』による。

平成17年 3月31日現在

勘定科目	金額(円)	勘定科目	金額(円)
資産の部		負債の部	
流動資産	97,980,639	流動負債	15,465,915
現金	0	未払金	14,362,354
預金	47,074,004	預り金	1,103,561
収入金	45,042,279	固定負債	379,192,246
未立替金	15,550	設備資金借入金	376,900,000
前払金	5,848,806	退職給与引当金	2,292,246
固定資産	1,486,738,534	負債の部合計	394,658,161
土地	116,295,160	純資産の部	
建物	1,032,343,131	基本金	228,151,160
建物付属設備	181,751,795	国庫補助金等特別積立金	924,511,048
構築物	109,660,415	次期繰越活動収支差額	37,398,804
機械及び備品	37,762,764	純資産の部合計	1,190,061,012
車両運搬具	225,500		
器具及び備品	6,267,523		
権利	140,000		
退職共済預け金	2,292,246		
資産の部合計	1,584,719,173	負債及び純資産の部合計	1,584,719,173

編集後記
『望洋荘』便り
平成十七年五月一日発行
発行所 いわき市
平豊間字合磯三十九番地

社会福祉法人 りんさく福祉会
介護老人福祉施設 望洋荘
電話 (0246) 557373
FAX (0246) 557255